

「日本医師会 後発医薬品の使用に関するアンケート調査」
結果報告
(2007年9・10月実施)

中医協 診療報酬基本問題小委員会

2007年11月9日

社団法人 日本医師会

調査の目的と方法

医療費抑制のため、後発医薬品を使用促進することで、薬剤費を削減しようとする動きがある。

このような中、後発医薬品について医療現場での使用状況や考えを把握することで、次回診療報酬改定に向けて検討課題とされる「後発医薬品の使用促進」を議論する上で重要な資料を得るために、本調査を実施した。

	調査時期 ^注	対象地域	対象者	配布数	有効 回答数	有効 回答率
調査① 後発医薬品の使用状況に関する調査	2007年 9月	全国	日本病院薬剤師会の 会員が所属する病院の 病院長	6,661	2,989	44.9%
調査② 後発医薬品の個別問題事例に関する調査			特定機能病院の薬剤 部門の責任者(薬局長 等)	82	60	73.2%
調査③(補足調査) 先発医薬品の使用状況に関する調査	2007年 10月		特定機能病院の病院長	82	60	73.2%

(注)すべての調査において、調査の対象とした期間は、2005年9月～2007年8月までの2年間。